一般社団法人　京都わかくさねっと

２０２０年度事業報告

（２０２０年４月１日から２０２１年３月３１日まで）

１．概要

コロナ禍で社会的孤立や貧困、暴力被害が深刻化する中、生きづらさを抱える若年女性が増え、若年女性の自殺や貧困等が社会問題となった背景のなか、団体の活動も、従来からの少女への寄添い支援に加え、少女の居場所「わかくさカフェ」を４か所開設し、SOS が届いていない幅広い層へのアプローチを行いました。

特に自立援助ホームカルーナの入退所者や大学生などとの多様性を受け入れる対等の関係性のなかで、若年スタッフが主体となった事業が始まりました。

京都市再犯防止推進モデル委託事業では、3 年間の最終年度として、寄添い支援、ワークの提供、少女の主体的な活動を地域の中で横断的に実施し、地域発の社会モデルを提案することができました。

活動を通して、少女たちの抱える課題の根本を理解すると共に、行政や支援団体、養護施設等と連携した支援を実践しました。また、テレビや新聞、SNS 発信を通して、若者を中心に多くの共感を得ることができました。とくに国連犯罪防止刑事司法会議・京都コングレスの出展においては、内外に活動を周知するとともに、若年スタッフの貴重な経験となりました。

２．事業実施内容

２－１　寄添事業

ひとりひとりの少女に対して、相談や寄り添い、行政や支援団体に繋げる等、必要な支援を行った。また、少女たちが希望するワークを実施し、関係性の中で寄り添い支援を行った。

（前期：京都市再犯防止推進モデル委託事業、後期：ゴールドマンサックス緊急子ども支援基金事業として実施）

①寄り添い支援（相談対応）

・前期（4 月～9 月）

２１８．８時間　１２名　＋　スポット対応　１２時間　５名

・後期（10 月～３月）

１８９．５時間　１８名（スポットでの対応含む）

③寄り添い支援（カルーナ入退所者へのワーク提供）

計 40 回　PC 教室 9 回、アロマアクセサリー作り 8 回、PC デザイン 4 回、キーボード 4 回、ちくちくカフェ（縫物）5 回、ヨガ 8 回、

命の貯蓄体操１回

④カフェでの専門家派遣、ワーク

・京都 YWCA カルーナ　22 回、講師 3 回

・hostelNINIROOM　ワーク 10 回

・ハピネスカフェ　専門家による寄添い支援　11 回

２－２　わかくさカフェ事業

地域の団体や企業と連携し、少女の居場所「わかくさカフェ」を開設した。

①京都 YWCA カルーナ

自立援助ホームと連携し、毎月 2～3 回、調理、昼食、ワークを実施。

6／20～　計 22 回開催　参加者 258 名

②hostelNINIROOM

若者に人気のホステルと連携。毎週火曜日の居場所の実施とおひるねと食事の提供（毎日対応）

7／7～　計 39 回開催　参加者 396 名、食事 186 食、交通費 42 名、貸室 53 回

③亀岡わかくさねっと

亀岡更生保護女性会と 70’プロジェクトと連携。第 4 日曜日。ひきこもりの人たちへの居場所を提供

4／11～　計 12 回開催　参加者 108 名　居場所、講義 4 回、食事

④happiness*café

子ども食堂活動団体と連携。地域の中高生女子に特化した居場所を提供。

9／5～　計 13 回開催　参加者 98 名　調理、食事、ワーク

２－３　少女主体の事業

協同ワークやプロジェクトを通して、自分の役割を見出し、コミュニケーション能力を高める目的で実施した。成功体験が自己肯定感を高めることに繋がった。

（前期：京都市再犯防止推進モデル委託事業、後期：ゴールドマンサックス緊急子ども支援基金事業として実施）

①起業塾１

8／1　西陣織でカルトナージュを作って小商いをしよう

主催：京都市　共催：京都市立伏見工業高校、認定 NPO 法人 DXP

学生スタッフ 17 名、高校生 4 名、先生 10 名

②起業塾２

9／8,15,22　秋の夜長を楽しむ空間作り　京提灯を作って飾ろう

主催：京都市　協力：小嶋商店、株式会社 NINI

スタッフ 17 名、参加者 23 名

③お礼の品を手渡すプロジェクト（京都府共同募金会）
イラストマスク 100 枚、手縫いマスク 16 枚、ポストカード 3 種類　300 枚
ネイルアクセサリー他
④京都 YWCA カルーナ成人の会の着付け
今年 20 歳の少女の振袖の着付けと髪結い、写真アルバム等の制作。着付けはスタッフが担当、メイクや撮影、アルバムづくりを少女が担当した。
1／9　5 名、1／26　1 名　スタッフ 14 名
⑤国連犯罪防止刑事司法会議「京都コングレス」出展
会期：3／7～12　場所：京都国際会議場
出展内容の企画～配布資料（英語）、動画（英語）の制作、ＨＰ等の対応、展示パネル制作（8M 壁面）、当日の運営、バーチャル出展対応、会議や閉会式の参加等
期間中参加者 40 名、準備 9 名
⑤活動発表
3／16　京都ユースサービス協会での発表　場所：中京青少年活動センター
パワポを用いた発表と当事者、支援者との交流、講座受講　8 名

２－４　お寺と連動したわかもの・子ども支援活動（興聖寺）　３回
子どもが参加するイベントを若者スタッフが主になって企画運営した。
参加者は、主に児童養護施設の入所者のほか、地域のこどもたちにも周知した。
また、当日は、保護観察対象者にも社会参加の機会を提供した。
・5／30 若者スタッフと住職と子どもの居場所についての協議（参加者 14 名）
・7／18 薪でご飯を作ろう（参加者 22 名）
・8／30 多文化交流型ワークショップ「お寺で、劇ごっこ」（参加者 18 名）

２―５　研修・勉強会等
①運営
・8／29　中村すえこさんの話を聴く会
②講義・活動発表
・12／19　龍谷大学社会福祉学部更生保護授業（北川）
・1／20　大谷大学授業（北川、高山）
・3／11　京都府建築士会 SDGS 講義（北川、高山、中原）
・12／5　更生保護学会自由発表
・11／21　バザールフェスタビデオ出展（京都バザールカフェ）
２－６　事務局
・監事　原史明監事、任期満了により退任、
村井琢哉氏が新監事として就任した。

＜総会＞
・6／3　社員総会　場所：同志社大学志高館 SK288 号室
＜理事会＞
・6／3　理事会　場所：同志社大学志高館 SK288 号室
・8／29　理事会　場所：同志社大学志高館 SK288 号室
・1／17　理事会　場所：同志社大学志高館 SK288 号室
＜メディア・SNS 等＞
・NHK おはよう関西 10／16
・朝日新聞朝刊 8／18
・京都の福祉（京都府社会福祉協議会発行）2021.3 月号
・京都 YWCA 機関誌 NO.558
・つまずき〟からの〝立ち直り〟を支援するためのハンドブック（京都府）
・上京区「Motto(もっと)しっとこ，魅(み)んなのなかま」【京都市公式】
・パープルカフェオンライン　vol.4｜まちに少女の居場所をつくる
・Facebook　投稿　144 回
・HP、Instagram、twitter　更新
＜広報紙等・印刷物＞
・「わかくさだより」少女のための居場所づくり活動広報紙 Vol１（2021-3）
・わかくさカフェ×hostelNINIROOM　案内チラシ
・わかくさカフェ×hostelNINIROOM　ショップカード
・わかくさカフェ×happiness*café　ショップカード
・京都わかくさねっと活動案内資料（英文）
・京都わかくさねっと活動案内ビデオ（英文）